

もっと!

“わくわく”が詰ま

横浜市では、読書を通じて「知る・学ぶ・深める」ことができるのはもちろん、憩いの時間を過ごし、人と人とが交流できる新しい図書館を創ります。

親子でのびのび本を楽しむ

4月22日(火)14時 中央図書館におやこフロアがオープン!

乳幼児と保護者がゆったりと過ごすことができる「**おやこフロア**」が中央図書館(西区)1階にオープンします。柔らかい床の上で、靴を脱いで遊べる**はだしスペース**や、離乳食・おやつを落着いて食べられる**飲食スペース**があり、自由に読書を楽しむことができます。

交通アクセス

- 京浜急行日ノ出町駅 徒歩5分
- JR・市営地下鉄桜木町駅 徒歩10分



子どもの好奇心をかき立てる
プロジェクション

離乳食やおやつが食べられる
飲食スペース

車いすやベビーカーが
動きやすいバリアフリー

柔らかい床の上で、寝転んで
本が読めるはだしスペース

親子で並んで絵本が
読めるベンチ

子どもの目線に合わせた
低い本棚

子どもの好みに合った絵本を
AIがおすすめ

子どもが簡単な質問に答えたり、画面に出る画像を選んだりすると、AIが好みに合った本を紹介してくれます。

子どもたちの「新しい本との出会い」をサポートします。



▲AIによる絵本紹介システム「びたりエタッチ」

パウ・パトロールが図書館に! としょかんパスポート

横浜市オリジナルのパウ・パトロールのパスポートで、スタンプを集めてプレゼントをゲットしよう。4月22日(火)14時からおやこフロアで配布を開始し、翌23日(水)からは市立図書館全館で配布します。(乳幼児対象、先着2万冊)



った新しい図書館へ

図書との出会いをもっと身近に

昨年(2024年)から

スマホによる図書館の利用が進化中!



- いつでもどこでも、LINEから約400万冊の蔵書検索が可能に
- デジタル図書館カードで電子書籍(約1万7千点)の利用が可能に
- 「コレヨム?」サービスで、あなたにぴったりの1冊を紹介

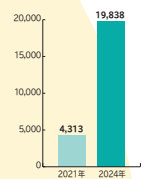
さらに、子どもにとっておきの本を紹介する機能を、市の子育て応援アプリ「バマトコ」に追加予定です。(2025年度中)



横浜市LINE公式
アカウントはこちら

横浜市LINE公式アカウントの「友だち追加」で、図書館をぐっと身近に!

電子書籍貸出回数 (月平均)
※2021年3月からサービス開始



便利な場所で借りられる 図書取次拠点



駅や商業施設などの便利な場所で、予約した本の受取と返却ができる図書取次拠点が市内12か所あります。「つづきの本ばこ」や「日吉の本だな」では、その場で本を読むことや、気に入った本を借りることもできます。

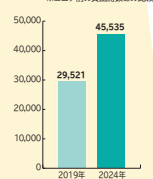
今後、市域全体に図書取次拠点を積極的に増やしていく予定です。



詳しくは
こちら

◀つづきの本はこのイメージ(3月29日開所)

取次拠点貸出回数 (月平均)
※コロナ前の貸出回数との比較



もっと使いやすく、もっと居心地よく

横浜市は、今後、市立図書館をますます進化させていきます。老朽化した図書館を再整備し、居心地のよい空間づくりを行います。

また、「教育都市・横浜」の知の拠点として、例えば音や映像など、図書だけではなく多様な情報メディアから、より多くの知識・体験が得られる場を新たに創っています。

市民が学んだり、くつろいだり、さまざまな目的で集まり交流も生まれる、新たな価値を生み出す図書館を目指します。



新たな
大型
図書館



- 多様な情報メディアの“知の拠点”
- 図書配送機能の強化